（別添資料１）

事業所名　多機能型事業所Universal Kids

支援プログラム（参考様式）

作成日　2025 年　3 月　24 日

法人（事業所）理念		子ども達の自立・心身の豊かな成長を目指し、明るい未来に挑戦する。		
支援方針		心と身体の相互関係に着目し、様々な運動を取り入れた活動を行い、身体諸機能の調和的な発達を促す支援を行う。		
営業時間		9 時　30 分から　18 時　30 分まで	送迎実施の有無	あり
支　援　内　容				
項目		Ⅰ.児童発達支援	Ⅱ.放課後等デイサービス	
対象児童		幼児	小学生～高校生	
本人支援	健康・生活	1. 健康：健康状態の把握、対応 2. 生活：基本的な生活リズムや生活習慣（食事・排泄・お片付け等）を 身につける為の支援を実施。（視覚支援・環境の構造化の取り入れ）	1. 健康：健康状態の把握、対応 2. 生活：基本的な生活スキルを身につける為の支援を実施。（視覚支援・環境の構造化の取り入れ）自分の生活をマネジメントできるよう本人の意向を尊重し自立に向けて支援する。	
	運動・感覚	1. 運動・感覚：運動を通して身体の調和的な発達を促し、楽しみながら運動機能や体力の向上を図る。（体幹運動、柔道、ボール運動、感覚統合遊び、姿勢保持等の支援）	1. 運動・感覚：運動を通して身体の調和的な発達を促し、楽しみながら運動機能や体力の向上を図る。（体幹運動、柔道、ボール運動、感覚統合遊び、周囲の環境に合わせた姿勢保持等の支援） 2. 個々のレベルに合わせた運動を行い、段階的に身体能力の向上を図る。	
	認知・行動	1. 認知：個々に合わせた課題・認知機能の発達を促す。（空間や時間、文字や数などの概念等） 2. 行動：適切な行動ができるよう、スケジュールを視覚化しわかりやすいよう支援する。	1. 認知：個々に合わせた課題・認知機能の発達を促す。（個別学習） 2. 行動：その場の状況に応じた適切な行動がとれるよう、具体的な声がけや視覚支援、環境の構造化を取り入れ、支援する。（SST、ABA等）	
	言語 コミュニケーション	1. 言語：言語の習得、自発的な発声を促す支援。 人との関わりをサポートしながら多様なコミュニケーション手段を活用し支援する。 2. コミュニケーション：他者との関りにおいて、本人の気持ちを受け止め、人の気持ちや状況を理解できるようサポートし、関係性を築いていけるよう支援する。	1. 言語：活動の中で自分の思いや気持ちを言語化し、伝えれるようサポートしていく。 また、多様なコミュニケーション手段を活用する。 2. コミュニケーション：他者との関わりにおいて、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちや状況を理解できるよう本人の思いを受け止めつつ、サポートしていく。 また、集団活動を通し、色々な人と関わる楽しさを知り、その中で役割や達成感を得られるよう支援する。	
	人間関係 社会性	1. 人間関係：信頼関係を育み、様々な遊び（手遊び、歌、リズム体操、見立て遊び、ごっこ遊び等）を通し、人間関係の構築ができるように支援する。 2. 社会性：平行遊びから関り遊び・集団遊びを通して徐々に社会性の発達を支援する。	1. 人間関係：活動を通して人との関わりが深まり関係性や協調性が育まれ、円滑に他者との関係性を築いて行けるようにサポートしていく。 2. 社会性：ルールや約束事を守りながら力加減や危険な事、物の扱い等をその都度丁寧に伝えながら遊びや活動を楽しめるようにサポートしていく。 活動を通して人との関わり方、生活に必要な適応能力が育つよう支援する。	
家族支援		1. 子どもの発達・成長に合わせた相談援助や情報共有。 2. 子育ての困りごとへの相談援助。	移行支援	1. 保育所等への移行支援。 2. 子どもの進学先、移行先への相談援助や情報共有。 3. 学校との情報共有や支援のすり合わせ。
地域支援・地域連携		1. こども園、保育園、幼稚園や学校、併用事業所との情報連携や調整、支援方法についての情報共有。 2. 相談支援事業所との連携。 3. 地域の社会的資源を利用し、地域のコミュニティに参加する。	職員の質の向上	1. 事業所外研修の参加。 2. 事業所内研修の実施。 3. 資格取得の為の支援。
主な行事等		1. 季節ごとのイベント、長期休暇時は様々な社会見学を実施。 2. 夏休みは保護者や児童を含めたバーベキューや夏祭りなどの催事を実施。		